



---

# 機械操作員

---



## ◆任務について

- ◎ 装置を正常に作動させ、  
競技会の運営を円滑にする

(注) 装置とは…

全自動装置・半自動装置本体・タッチ板・  
グリップスイッチ・場内掲示装置(電光表示  
板)・リレー引き継ぎ判定装置等をいいます

- ◎ 装置の正常作動を監視するとともに、装置によっ  
て得られた記録を機械審判または記録主任を經  
て審判長に報告する



## ◆編成について

- ◎ 全自動装置1名
- 半自動装置1名
- コンピューター(パソコン)1名の合計3名で編成





## ◆配置について

- ◎ 競技全般を見渡すことができる
- ◎ 審判長が各競技の記録・結果を直ちに確認できる
- ◎ 機械審判または記録主任と連携できる場所
- ◎ 特に、ゴールタッチを確認しやすい場所がよい



## ◆手順について

◎ 競技会開始前に、スタート信号・タッチ板あるいはグリップスイッチからの信号入力系統に誤りがないかを確認しておく

(注) レーンボックスの配置ミスがないかを調べるためにも、タッチ板あるいはグリップスイッチからの入力テストは1レーン(0レーン)から順番に行い、プリントアウト・場内表示装置への出力等を確認しておくことが必要です  
コンピュータを使用している場合は、コンピュータ操作員と連携して出力関係等を確認しておきます



## ◆手順について

- ◎ リレー引き継ぎ判定装置を備えた機械装置であるかを確認し、事前に審判長へ報告する  
その際、折り返し側でも自動引き継ぎ判定が可能であるかを確認し、併せて報告しておくとい

(注) リレー引き継ぎ判定装置が装備されている場合は、判定装置の結果が優先されます  
その場合の判定基準である引き継ぎ時間は、  
-0.04 秒以上を失格とし、全レーン・全競技者をチェックすることが望ましいです



## ◆手順について

- ◎ 半自動装置を使用する場合、グリップ操作の方法を担当主任と打ち合わせしておく
- ◎ 世界新記録・日本新記録等を装置により判定できる場合は、樹立時の連絡方法をコンピュータ操作員との分担を含めて確認しておく
- ◎ 全自動装置(半自動装置)・実況を分担し、呼称に対して復唱しながら、正確な操作を行う
- ◎ 機械操作員は、装置の正常な作動を監視し、装置によって得られた記録の可否を判定し、機械審判または記録主任を経由して審判長に報告する



# ◆基本操作方法例

## 全自動装置(SEIKO PT-7000の場合)

### 1. レースセット

競技種目が替わった時に、レバーの操作により  
下記①～⑥の設定を行います

- ①プログラムNo.
- ②組No.
- ③性別
- ④レース種別
- ⑤種目
- ⑥距離







## ◆基本操作方法例

### 2. レーススタート時

ピストルの信号とともに機械が作動します

- ①記録紙(レシート)のヘッダーが印字され、少し出てくるので、余白に現在のプログラムNo.と組No.を記入します
- ②レース中の組に棄権者がいる場合、余白に棄権者のレーンNo.を記入します
- ③レース中、泳者が途中棄権した場合、余白に棄権者のレーンNo.を記入します



## ◆基本操作方法例

### 3. 各泳者ゴール時

各泳者がゴールと同時に、機械が作動しているか確認します

①目で各泳者のゴールタッチを確認しながら、耳でレシートに印字される音を聞きます

②全自動装置と半自動装置の間に設置されているパソコン画面でタイムが正しく表示されているか確認します



## ◆基本操作方法例

⇒全自動装置が正しく表示されなかった場合

表示されなかったレーンNo.と「ソフトタッチ」  
または「半自動」と記入します。

⇒半自動装置が正しく表示されなかった場合

表示されなかったレーンNo.と「タイムなし」  
または「手動」と記入します。

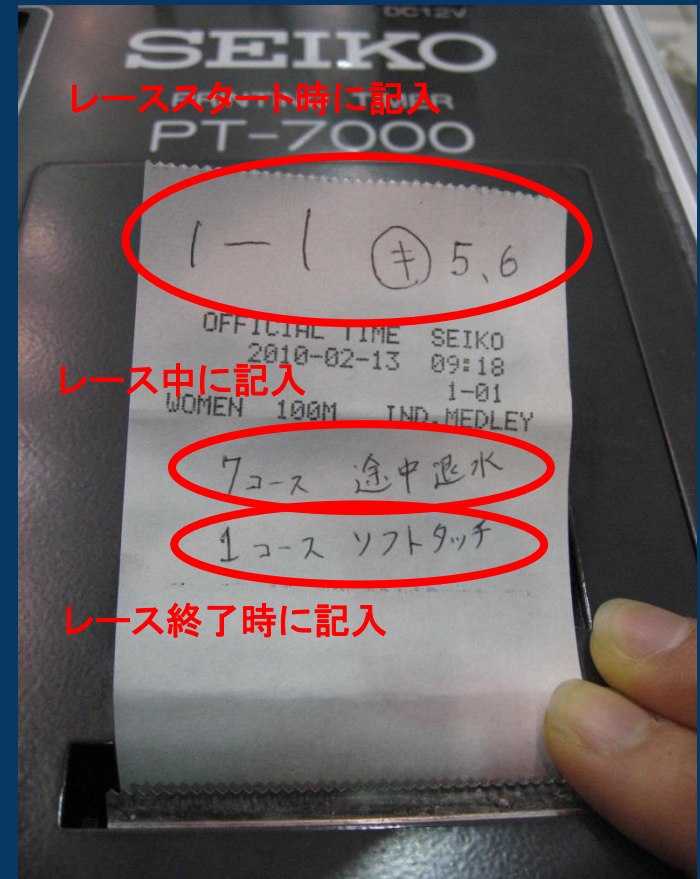


## ◆基本操作方法例

右の写真のように記入します

全自動装置は黒ペンで  
半自動装置は赤ペンで  
記入します

※機械操作員用プログラムがある場合はプログラムにも棄権、途中棄権、信号入力のない場合などの情報を転記してください





## ◆基本操作方法例

### 4. レース終了時

各泳者が全員ゴールしているか確認したうえで  
リセットを行います

#### ①データを機械に保存します

【手順】

MASTER(③)のレバーを下に下げたまま  
MEMORY(①)のレバーを上にあげます





## ◆基本操作方法例

### ②時計をリセットします

【手順】

MASTER(③)のレバーを下に下げたまま  
RESET(②)のレバーを下に下げます





## ◆基本操作方法例

③時計がリセットされていることを確認し、  
レシートを切ります

※切り取ったレシートは記録係りが回収します  
ので、全自動と半自動の2枚セットで手渡  
します

④次のレースに設定されていることを確認し、  
審判長に合図を送りスタートを待ちます



## ◆留意事項

- ◎ 装置の進歩にともなう変化に対応した操作方法に精通していなければなりません
- ◎ 泳者のライトタッチや有効面外のタッチによるタッチ板の信号未入力が、未熟な泳者や高齢の泳者に多く見受けられます。  
機械操作員は、泳者の折り返しまたはゴールタッチとタッチ板のゴール信号入力のタイミングに十分注意し、疑いがあるときまたは信号がなかった場合は、直ちに審判長に報告します





## ◆留意事項

- ◎ リレー引き継ぎ判定装置を使用している場合は、その結果を機械審判または記録主任を経て、審判長に報告します
- ◎ 審判長より「競技成立(リセット可)」の合図があるまで、リセットしてはなりません